

【奨励賞】

在宅医療のプライマリ・ケア化による医療費の削減策

京都府立医科大学 医学部

安藤 新人

〃

磯邊 綾菜

(要旨)

超高齢化社会を迎え、保険・年金制度は大きな岐路に立たされている。日本の医療システムを「疾病治療中心」から「疾病予防促進」へシフトさせていくことは、医療費削減の一つの有効な手段となり得る。

本論文では、「平等に医療にアクセスできる」日本の医療制度の長所はそのままに、米国のような「予防に重点をおく」マネジドケアを導入することを提言する。具体的には、在宅医療においてプライマリケアを充実させ、当サービスを後期高齢者医療制度へ組み込む。

さらに、「在宅医療のプライマリ・ケア化」によって削減された医療費を地域医療へ還元することにより、医療サービスの質向上が期待できる。